

日本画像学会
2017年度 第60回定時総会

2017年6月20日(火)
12:45-13:45
学術総合センター(一橋講堂)



2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



学会の活動概況

会長 面谷 信(東海大)

会員数 927名(正会員877名、学生会員50名)

維持会員数 67社(160口)

➤ 会員増を重点課題として取組中

方策1)学会の魅力向上と交流機会の充実

- ・『インクジェット技術交流会』を新設。若手含む会員コミュニティ作り
本年1月より参加者募集開始→約70名の参加者を確保済み
- ・『デジタルファブリケーション技術交流会』 →本年3月より参加者募集開始

方策2)学会の守備範囲とコミュニティの拡大

- ・MBD (Model Based Development)関連交流会の実施(3月21日)
設計技術分野と関連技術者/コミュニティの取込 →技術部会化

方策3)他学会との連携

- ・日本視覚学会とのコラボを推進中

学会の活動概況（続き）

➤ 連合会活動強化

- ・2017年より春の年次大会も合同開催
- ・2019年に2nd ICAI併催予定

➤ 他学会との連携

- ・日本視覚学会とのコラボ開始 →明日6/21特別セッション
(ICJ2016 Fall: 西田会長特別講演、評議委員会: 内川元会長講演)

➤ 収支

- ・2016年度は赤字予算で開始したが黒字決算
(実はテストチャート収入に助けられた)

2018年は学会創立60周年！

1958年6月30日「電子写真懇話会」発足

※電子写真発明(1938年)80周年

➤ ICJ 2018を中心に各種の企画準備中

- 学会誌60周年記念号
- 記念出版(画像処理, 有機感光体, Ink Jet改定版, 3D, etc.)
- 記念シンポジウム(学会の新Vision発表 etc.)
- プリント画質コンテスト??
- . . .

学会Vision検討状況紹介

— Action before 2020 ? —

Vision 55(学会創立55周年:2013年)を踏まえ、
開拓/強化項目を選定しAction Planを策定予定！

開拓/強化 項目候補(討論中)

- 視覚(質感、感性含む)
- 設計(MBD, 1Dシミュレーション等)
- 画像入力～処理
- 3D (3D Printing, 3次元データハンドリング)
- 新材料(メタマテリアル:色材使わない発色等)

2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



定足数と事前投票・本日出席者数の報告

社員総会の会員数			861
定足数			431
回答結果			
回答者数			523
	メール回答数		511
	ハガキ回答数		12
回答内容			
	総会出席者数		37
	欠席者数		486
	議決者数		26
	委任者数		460
回答率			60.7%

- ・既議決者数26＋委任者数460＋本日の出席者数37＝合計523名
- ・本総会の出席者数は定足数を十分に満たしていることをご報告します。

2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. **第1号議案:2017年度役員案(審議・承認)** 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



(1)2017年度の改選候補（任期:2017年6月－2019年6月まで）

- *: 前任者任期が2017年度定時総会までのところ任期満了前に退任したため、2016年度から役員代理に就任中の新任候補、もしくは前任者が2017年度定時総会で任期を満了し退任するため新たに推薦された新任候補
- **： 前任者任期が2018年度の定時総会までのところ、2016年度末までに退任したため、その任期を引き継ぐ新任候補
- 無印： 任期が2019年度定時総会までの役員候補（留任希望）

区分		氏名		所属
理事候補	1	飯野 裕明		東京工業大学
	2	木下 周三		三菱製紙(株)
	3	小林 範久		千葉大学
	4	田中 作白		京セラドキュメントソリューションズ(株)
	5	佐野 隆之		(株)巴川製紙所
	6	内藤 裕義		大阪府立大学
	7	中島 一浩		キヤノン(株)
	8	中山 信行		富士ゼロックス(株)
	9	長山 智男		(株)リコー
	10	西野 俊夫		シャープ(株)
	11	中澤 雄祐	*	富士フイルム(株)
	12	南 毅広	*	王子ホールディングス(株)
監事候補	1	校條 健	**	キヤノン(株)

第1号議案関連：役員紹介 (2/3)

(2)2017年度 非改選の役員 (任期:2016年6月－2018年6月まで)

区分		氏名		所属
理事	13	面谷 信		東海大学
	14	三矢 輝章		(株)リコー
	15	佐藤 利文		東京工芸大学
	16	青木 彦治		ブラザー工業(株)
	17	伊丹 明彦		コニカミノルタ(株)
	18	梅津 信二郎		早稲田大学
	19	大西 勝		(株)ミマキエンジニアリング
	20	大橋 豊史		三菱化学(株)
	21	北久保 茂		日本工業大学
	22	酒井 真理		東京大学
	23	傳田 聡		セイコーエプソン(株)
	24	服部 好弘		コニカミノルタ(株)
	25	藤井 雅彦		富士ゼロックス(株)
	26	吉田 稔		東芝テック(株)
監事	2	中居 達		王子製紙(株)

第1号議案関連：その他の役員の紹介 (3/3)

＜2016年度で退任された、あるいは2017年度総会をもって退任される理事・監事＞

区分		氏名	所 属
退任予定 役員	理事	浅野 晋一	王子ホールディングス(株)
	理事	石黒 秀明	三菱製紙(株)
	理事	小島 洋樹	キヤノンファインテック(株)
	理事	辰巳 節次	富士フイルム(株)

=====

＜2017年度 幹事＞

狩野 篤 京セラドキュメントソリューションズ(株)
美才治 隆 (株)リコー

=====

＜2017年度 顧問＞

小門 宏 高橋恭介 (東海大学)
坂田俊文 (東海大学) 横山正明 (大阪大学)
田嶋紀雄 高橋 通 (元キヤノン)
北村孝司 (千葉大学) 平倉 浩治 (HIRAK、元(株)リコー)

第1号議案 事前投票結果

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	25	26	25
反対	1	0	1

委任先	議長	460
	その他会員	0
	合計	460

2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
- 5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山**
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



第2号議案 2016年度事業報告

第60回定時総会資料
2016年度事業報告をご参照ください

下記 5委員会はスライドにて活動報告をします。

1. 編集委員会 (美才治幹事)

2. 技術委員会 (佐藤副会長)

3. 企画委員会 (酒井理事)

4. コンファレンス委員会 (三矢副会長)

5. 事業委員会 (大橋理事)

1. 編集委員会

2016年度活動実績

■組織

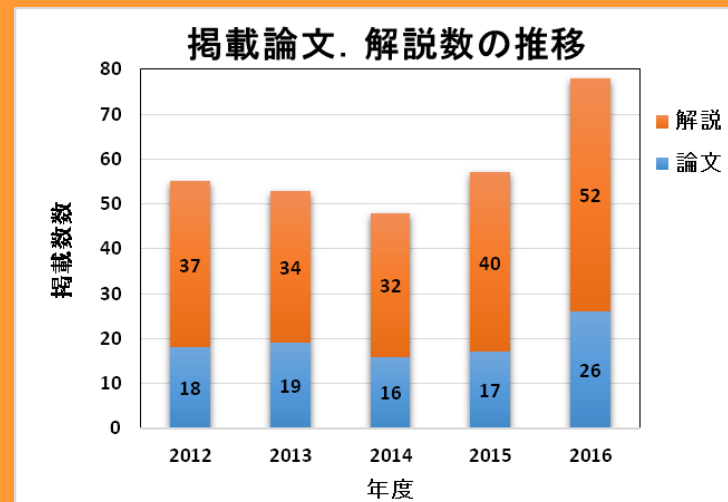
- 編集委員会6回(うち1回は合宿(神戸))開催
- CD活動にて約90万円(予算の約9%)の財務改善
- 学会創立60周年記念号に向けWG活動開始
- 電子版配信(学会誌, 連合会合同要旨集)に向けた活動を広報委員会と開始

■学会誌

- 年6冊を定時発行. 会員サービス向上策として, ICAI2016論文特集や“Imaging Today”強化を実施し, 充実化(掲載数増)を推進
- 12月号クラスタ論文では, Science & Technology of Inkを特集し, 英文論文/解説計10編を掲載

■そのほかの活動

- フリートーキング2回開催
第29回(7/8, 早稲田大学):「プリンティングを支えるポリマー材料」, 28名参加
第30回(3/17, 早稲田大学):「産業用インクジェットプリンタ技術」, 参加者159名



2. 技術委員会 2016年度活動実績

各部会企画の研究会等 実績(2016年4月～2017年3月)

■研究会

第127回(7/6)『サーマル技術の基礎と未来』～微細な熱源の可能性～:サーマル記録技術部会(参加者44名+委員)

第128回(9/30)『インクジェットインクの基礎から応用』-技術の誕生,進化,将来-:インクジェット技術部会(参加者134名+講演者・委員)

第129回(10/21)『プリントドエレクトロニクスと電子ペーパーの新展開』:電子ペーパー/フレキシブル技術部会(参加者47名+講演者・委員)

第130回(10/28)『トナー技術&イメージング材料技術の基礎を理解する』:トナー技術部会(参加者65名+講師・委員)

■シンポジウム・合同研究会

シンポジウム(12/2)『プリンティングの未来を創造するイノベーション』～商品企画,研究開発からフィールドサポートまで～:電子写真技術部会(参加者89名:講演者・委員含む)

■討議・交流

・主査会議(12/19, 1/25:各部会主査), 総会(1/25:各部会員約70名)開催

■部会活動の活性化と一般会員の参加機会拡大、若手技術者の育成

インクジェット部会がインクジェット技術の展開を目的としたコミュニティ『インクジェット技術交流会』を設立した。デジタルファブリケーション部会も技術交流会立ち上げを進めている。

■学会間交流

・日本視覚学会との学会間コラボレーションに関するブレインストーミングを開始した。

3. 企画委員会

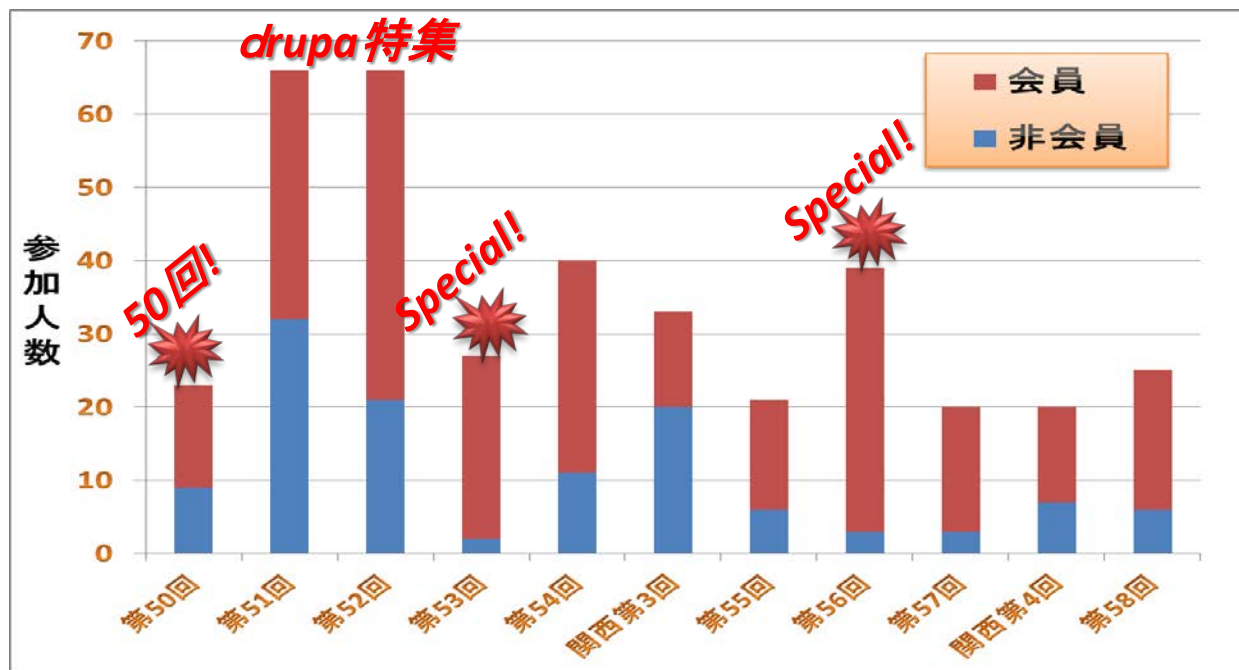
2016年度活動実績

◆ イメージングカフェ

- 東京地区9回(スペシャル2回), 関西地区2回開催
- 延べ380名参加(会員203名、非会員120名、委員57名)

◆ イメージングカフェ5周年, 50回記念企画

- 50回記念「人生画像三昧」東京大学名誉教授 原島博先生
- ICJ2016ワークショップ「イメージングの未来を語ろう」



第50回記念



第52回 drupa報告 19

■ Imaging Conference JAPAN 2016

[日本画像学会研究討論会(第117回): 日本画像学会年次大会]

- ・開催日: 2016年6月8日(水), 9日(木), 10日(金)
- ・場所: 東京工業大学すずかけ台キャンパスすずかけホール
- ・運営幹事会社: 富士ゼロックス株式会社 [実行委員長: 大西康昭氏、
同副委員長: 中山信行氏、藤井雅彦氏]
- ・日本写真学会との併催にて実施

■ 活動報告

➤ 第80回技術講習会 「R&Dの最前線から学ぶ画像技術の基礎と将来展望」

日時：2016年6月23日（木）、24日（金）

会場：東工大すすかけ台キャンパス すすかけホール

参加者数：124名（ ）内は昨年実績

正会員・維持会員：96名(120)、非会員：28名(36)、学生：0名(1)

<トックス>

展示会社様との協奏として参加者持込み
サンプルの測定を実施、好評とのアンケート結果

➤ 第1回「電子写真技術フェトリアル」

日時：2016年11月17日（木）

会場：京都工繊大

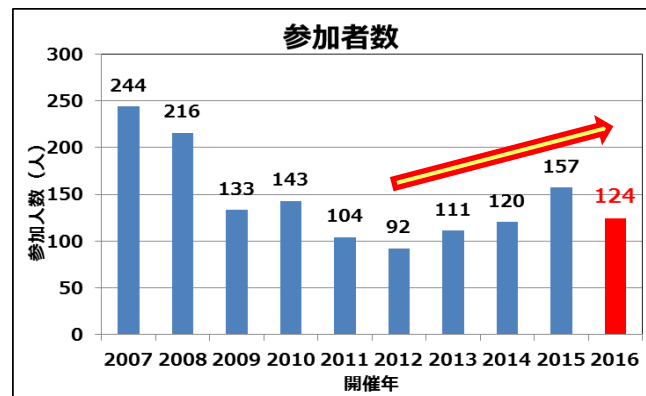
参加者数：16名

<トックス>

電子写真技術総説、現像プロセス、定着プロセスの3テーマで実施

事前資料配付(1ヶ月前) & 事前質問受付を実施、講演会形式ではない、

対話型形式の講習会（フェトリアル）に大変満足、よく理解できたとの高評価をいただく



第2号議案 事前投票結果

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	25	26	25
反対	1	0	1

委任先	議長	460
	その他会員	0
	合計	460

2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. **第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認)** 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



第7期（通算60期）
決算報告書（案）

自 2016年 4月 1日
至 2017年 3月31日

2016年度 財務報告 (2016年度決算案)

一般社団法人 日本画像学会

東京都中野区本町2-9-5
東京工芸大学内

財務委員長 服部

収支概要

科目	当初予算(円)	決算額(円)	差異(対予算)(円)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 特定資産運用収入	0	5,690	-5,690
② 正会員会費収入	7,300,000	6,770,760	529,240
③ 維持会員会費収入	12,800,000	12,803,680	-3,680
④ 事業収入	17,920,000	24,848,600	-6,928,600
⑤ 受取利息収入	20,000	2,353	17,647
⑥ その他の事業活動収入	0	10,601	-10,601
事業活動収入計 (A)	38,040,000	44,441,684	-6,401,684
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	26,810,000	29,016,557	-2,206,557
② 管理費支出	12,910,000	12,247,044	662,956
③ 法人税等	150,000	70,000	80,000
④ その他の事業活動支出	0	1,270	-1,270
事業活動支出計	39,870,000	41,334,871	-1,464,871
事業活動収支差額	-1,830,000	3,106,813	-4,936,813
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	300,000	500,000	-200,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	500,000	0	500,000
当期収支差額	-2,130,000	2,606,813	-4,736,813

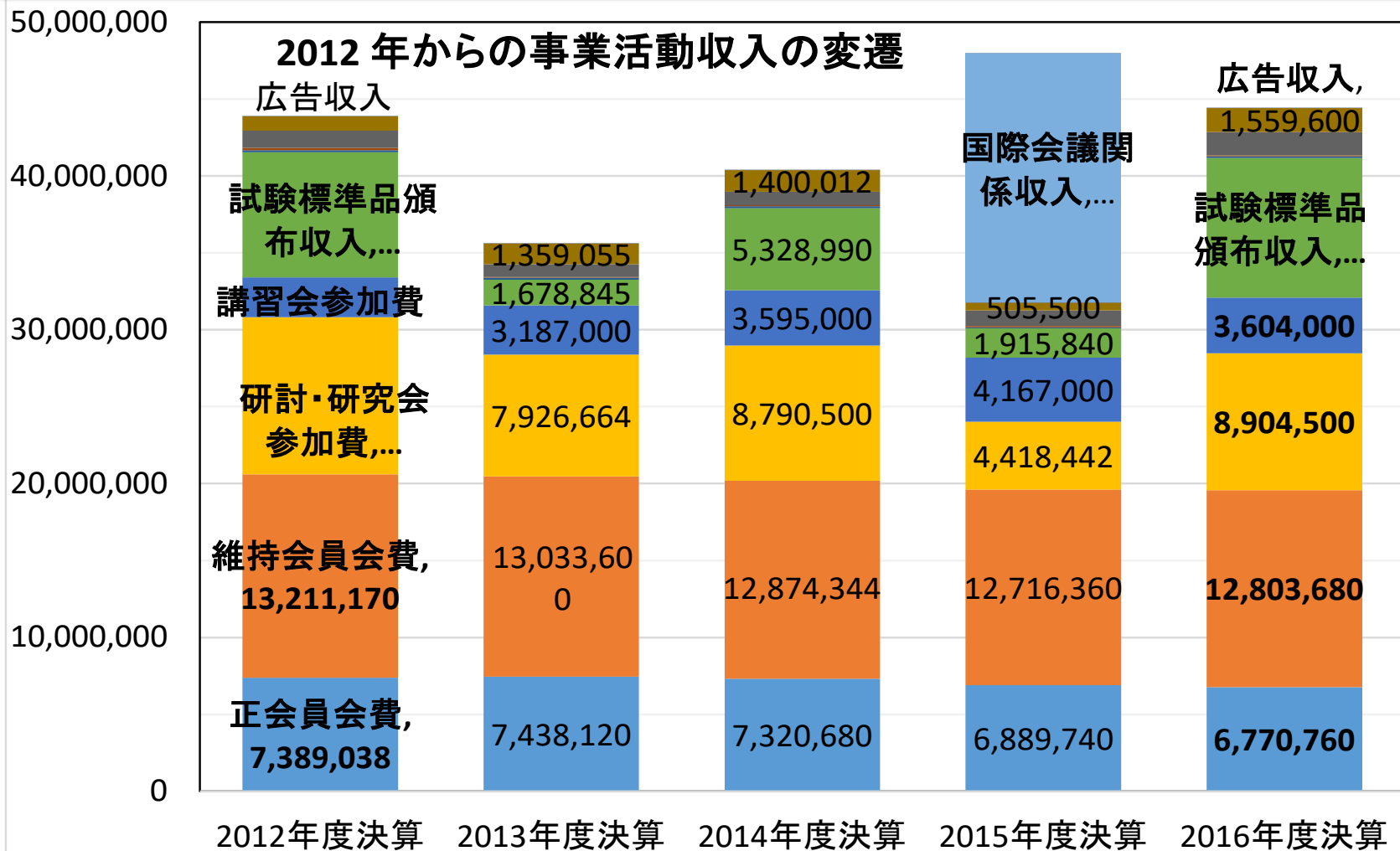
(A) 当初予算に対して事業収支が約640万円のプラス
事業収支絶対額は約310万円の黒字

事業活動収入詳細

科目	当初予算(円)	決算額(円)	差異(対予算)(円)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 特定資産運用収入	0	5,690	-5,690
② 正会員会費収入 (A)	7,300,000	6,770,760	529,240
③ 維持会員会費収入	12,800,000	12,803,680	-3,680
④ 事業収入	17,920,000	24,848,600	-6,928,600
研討・研究会参加費 (B)	9,550,000	8,904,500	645,500
講習会参加費	4,100,000	3,604,000	496,000
試験標準品頒布収入 (C)	2,400,000	9,081,700	-6,681,700
予稿集・技術資料頒布収入	200,000	113,390	86,610
出版物頒布収入	50,000	65,580	-15,580
会誌購読・BN頒布収入	900,000	1,514,160	-614,160
広告収入 (D)	700,000	1,559,600	-859,600
雑収入	20,000	5,670	14,330
⑤ 受取利息収入	20,000	2,353	17,647
⑥ その他の事業活動収入	0	10,601	-10,601
事業活動収入計	38,040,000	44,441,684	-6,401,684

- (A) 正会員数が回復基調に届かず。
 (B) 研討・研究会：参加費、講習会参加費が予算未達。
 (C) 試験標準品頒布収入：大口受注により増収。
 (D) 広告収入：学会誌掲載広告件数増により増収。

主な事業収入の推移



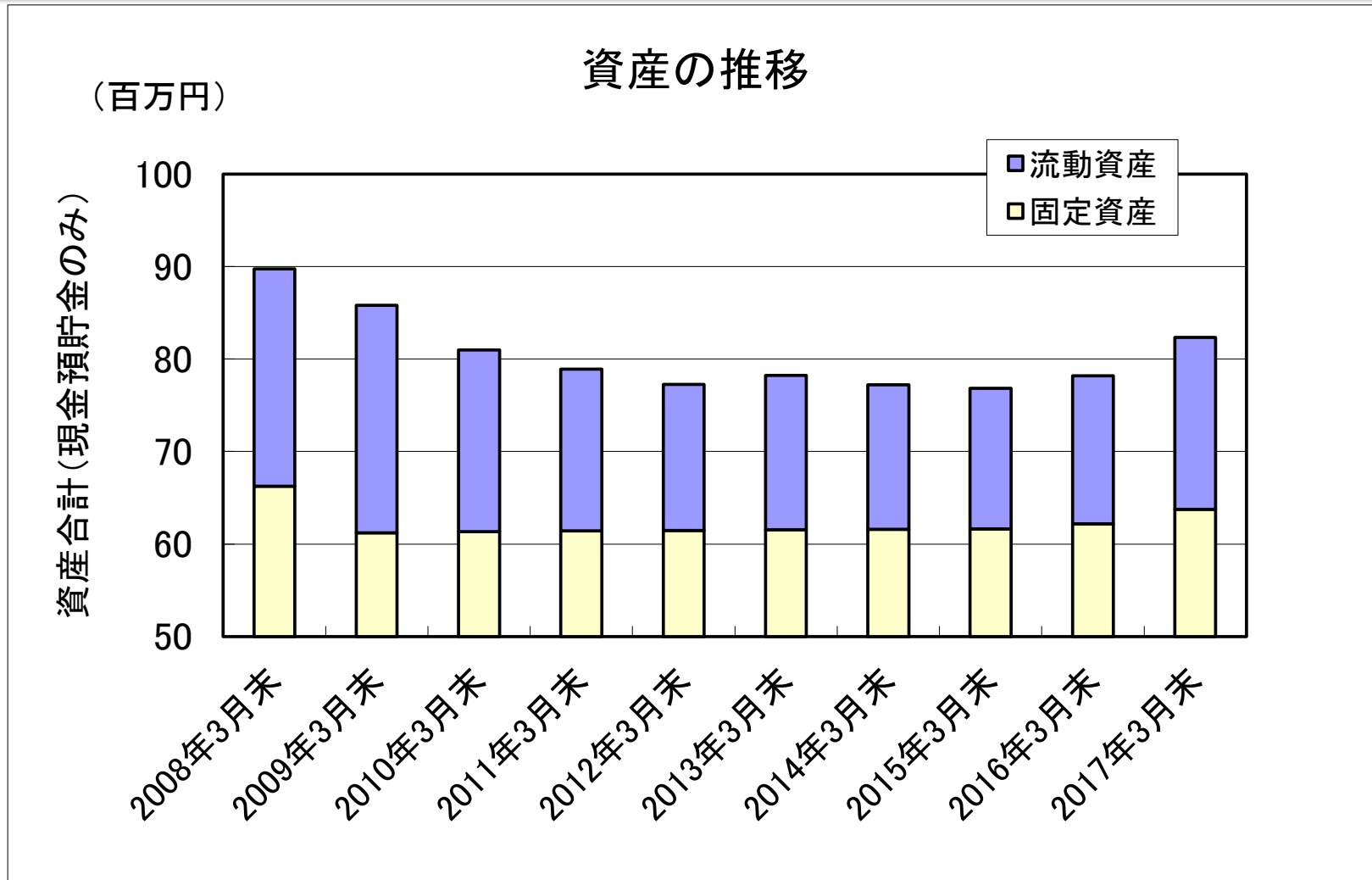
- ・会員数は僅かずつだが減少傾向が続いている。
- ・講習会・研討・研究会は山谷あるも平年並を維持。
- ・試験標準品は周期的に需要がある。

事業活動支出詳細

科目	当初予算(円)	決算額(円)	差異(対予算)(円)
2. 事業活動支出	0	0	0
① 事業費支出	26,810,000	29,016,557	-2,206,557
会誌発行費 (A)	9,700,000	9,389,915	310,085
研討・研究会開催費	7,510,000	7,711,573	-201,573
講習会開催費 (B)	2,200,000	1,780,094	419,906
試験標準品作製費 (C)	1,200,000	6,112,800	-4,912,800
出版物作製費	500,000	0	500,000
デジタル化費	900,000	785,614	114,386
学会賞費	500,000	289,163	210,837
諸委員会費	2,100,000	1,643,893	456,107
理事会・評議員会・総会費	1,700,000	1,303,505	396,495
国際会議準備費	500,000	0	500,000
② 管理費支出	12,910,000	12,247,044	662,956
通信・運搬費	400,000	309,195	90,805
事務費 (D)	2,200,000	1,778,726	421,274
事務員費	9,550,000	9,870,799	-320,799
事務機械化費	200,000	189,676	10,324
雑費	100,000	40,048	59,952
租税公課	300,000	0	300,000
管理諸費	60,000	58,600	1,400
退職給付費用	100,000	0	100,000
③ 法人税等	150,000	70,000	80,000
④ その他の事業活動支出	0	1,270	-1,270
事業活動支出計	39,870,000	41,334,871	-1,464,871

- (A) (B) 会誌、講習会は経費節減等により支出減。
 (C) 試験標準品は大量受注を受け製作費増
 (D) 事務経費は節減, 人件費が課題

学会資産の推移(預貯金&現金)



微増傾向にあり、2016年度の資産の推移は健全と言える。

監事は、2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度の業務及び会計について監査を実施致しました。

その結果について次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議委員会、その他重要な会議に出席するほか、日本画像学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け学会における業務及び財産の状況を調査致しました。また、日本画像学会の関係者および財務委員会からの報告および説明を受け、監査委員会を実施して、収支決算書および貸借対照表について監査を実施致しました。

2. 監査結果

2.1 業務監査の結果

日本画像学会の業務については、日本画像学会の年度計画、事業計画等に基づき適正に運営されていると認めます。

2.2 会計監査の結果

2017年5月8日に監査委員会を実施した結果、服部財務委員長より説明があった、2016年度日本画像学会収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、必要な事項を正しく示していると認めます。

2017年6月20日

一般社団法人 日本画像学会監事

中居 達



第3号議案 事前投票結果

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	25	26	25
反対	1	0	1

委任先	議長	460
	その他会員	0
	合計	460

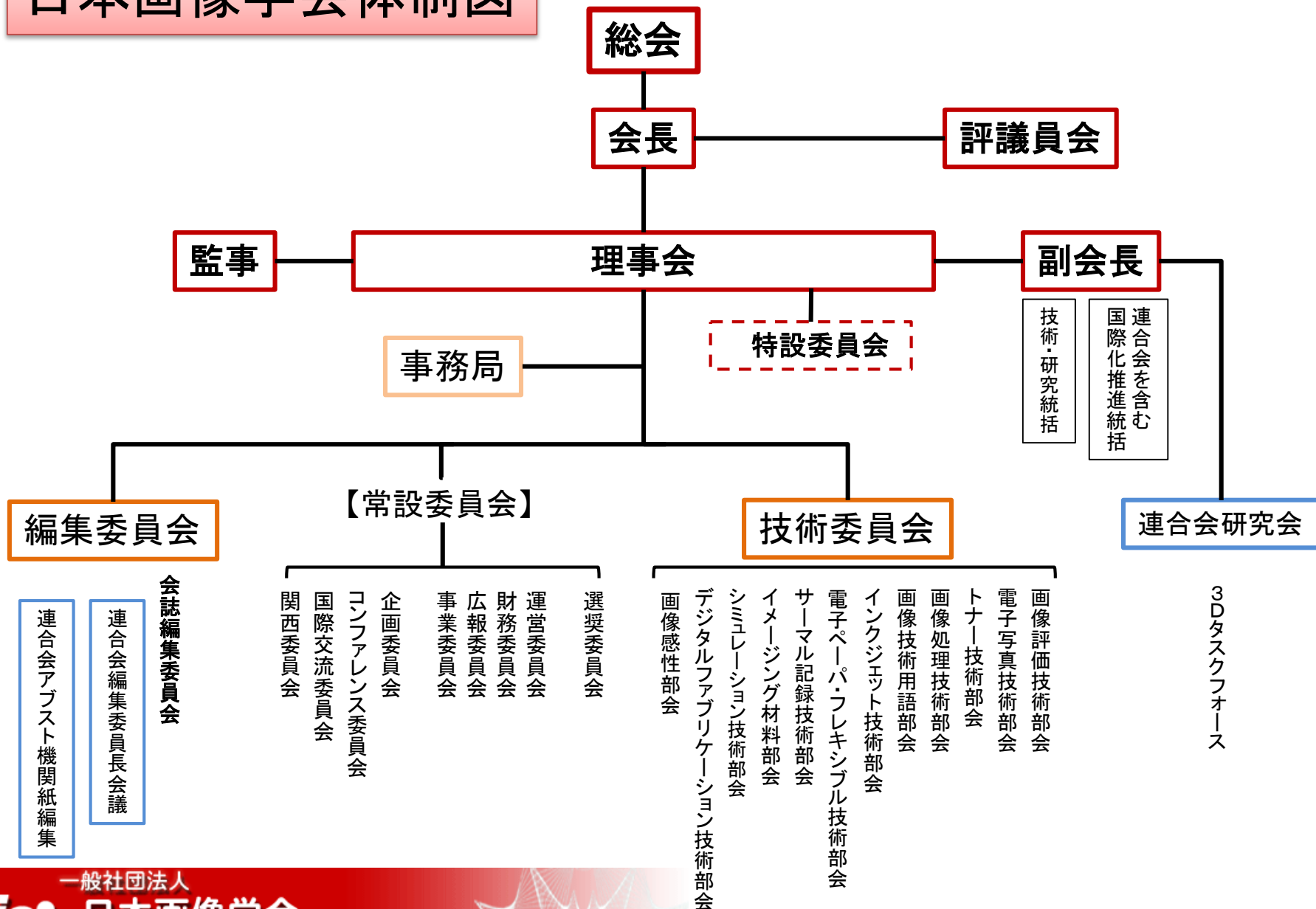
2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. **第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告)** 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



日本画像学会体制図



編集委員会

総数22名

画像関連連合会合同誌

委員長:美才治 隆
副委員長:中村一希、高橋正樹
編集幹事:中村一希、岩田 基

連合会編集委員長会議

アブストラクト集編集委員会

【常設委員会】

選奨委員会 委員長:内藤裕義 全12名

運営委員会 委員長:中山信行 全12名

広報委員会 委員長:長山智男 全7名

事業委員会 委員長:大橋豊史 全16名

財務委員会 委員長:服部好弘 全4名

コンファレンス委員会 委員長:三矢輝章 全9名

企画委員会 委員長:酒井真理 全8名

国際交流委員会 委員長:藤井雅彦 全6名

関西委員会 委員長:狩野 篤 全16名

技術委員会

委員長:佐藤利文
副委員長:酒井真理

総数122名

画像評価技術部会(休会中)	主査:伊藤哲也	全7名
電子写真技術部会	主査:永瀬幸雄	全12名
トナー技術部会	主査:多田達也	全10名
画像処理技術部会	主査:松木 真	全8名
画像技術用語部	主査:北久保茂	全12名
インクジェット技術部会	主査:藤井雅彦	全11名
電子ペーパー・フレキシブル技術部会	主査:堀田吉彦	全12名
サーマル記録技術部会	主査:寺尾博年	全9名
イメージング材料部会	主査:横山正明	全7名
シミュレーション技術部会	主査:門永雅史	全12名
デジタルファブリケーション技術部会	主査:酒井真理	全8名
画像感性部会	主査:鎰谷賢治	全12名
MBD技術部会(仮称)	主査:調整中	—

新設

1. 編集委員会

2017年度活動計画

■組織

- 編集委員会
 - 偶数月の定期委員会を6回開催
 - 5月に年間計画立案の合宿を京都で開催
- 学会創立60周年記念事業推進委員会
 - 2018年2月記念号発行に向けWG活動にて編集作業を遂行
 - 広報委員会と連携した電子版配信の基盤構築推進
- 連合会編集委員会連携
 - 合同要旨集発行の具現化推進
- 査読体制の増強
 - 技術委員会との連携
- 技術委員会各部会との連携
 - 部会企画情報(開催案内/報告)の学会誌での発信
 - 研究室訪問等コラボレーション推進

■学会誌

- 年6冊の定時発行
 - 会員サービス向上の継続と、発行コストダウン施策継続
 - 年1回の英文クラスタ論文特集号を継続
 - Imaging Today/Advanced Technology, Imaging Highlight, 教育講座, 研究室訪問の掲載を継続
 - 連合会関連記事の企画
- 会員アンケートなどによる質の改善

■その他の活動

- フリートーキング開催
 - 第31回, 第32回を企画, 開催予定
 - 収支改善施策を増強
- 連合会合同英文誌の再構想

2. 技術委員会 2017年度活動計画

研究会等の予定

2017年9月22日(金)(発明会館): インクジェット技術研究会

2017年10月20日(金)(化学会館): 電子ペーパー/フレキシブル技術研究会

2018年1月(会場未定): 電子写真技術研究会

2018年1-3月(会場未定): サーマル記録技術研究会

活動予定

- ・技術交流会の推進。
- ・日本視覚学会との学会間コラボレーション。
- ・画像評価技術部会のあり方再検討。
- ・主査会議(2回)、技術委員会総会の開催。

◆ イメージングカフェ

- 月1回程度のペースで、年間11回
- スペシャル2回
- 東京と関西で開催

◆ シンポジウム(東京)リニューアル

- 12月に開催してきたシンポジウムの位置付け確認
- 技術横断的テーマ, 新技術・境界領域の開拓

◆ ICJワークショップ運営

4. コンファレンス委員会

2017年度活動計画

■ Imaging Conference JAPAN 2017

[日本画像学会研究討論会(第119回): 日本画像学会年次大会]

- ・開催日:2016年2017年6月20日(火)、21日(水)、22日(木)
- ・場所:学術総合センター 一橋大学一橋講堂
- ・運営幹事会社:株式会社リコー [実行委員長:村山久夫氏、
同副委員長:長山智男氏、一宮孝司氏]
- ・4学会合同(日本印刷学会、日本写真学会、画像電子学会、日本画像学会)実施

■ コンファレンス委員会(2016年度3月時点)

委員長:三矢(リコー)、委員:大西(ミマキ)、小林(千葉大学)、木村(富士ゼロックス)、竹内(日本画像学会)、岸(リコー)、中山(富士ゼロックス:2016年度ICJ副実行委員長 兼任)、長山(リコー:2017年度ICJ副実行委員長)

- 若手／中堅技術者育成に繋がる活動を行います！！
- 第81回技術講習会 2017年7月13日（木）14日（金） すすかけホール
 - ・『基礎教育講座』の拡充、各論の深掘り、展示会社イベント
 - ・『基礎知識の習得と深化』を実感できるプログラム作り、講習内容の充実
- 第2回チュートリアル 2017年11月 ICJ-Fallと同時開催予定
 - ・講師と直接議論しながらの特別セッション
 - ・好評につき、第2回は『電子写真技術』と『インクジェット技術』の2テーマを実施予定
 - ・定員は15名程度 <ご期待ください！！>

2017年度 財務計画

財務委員長
服部

2017年度予算編成方針(1)

- ・2018年度に学会創立60周年を迎えるにあたって、会勢を立て直し、復調を図る仕込みを盛り込んだ予算立てを行う。
- ・正会員会費収入は、会員数減を食い止め、増員を目指す。維持会員会費収入は、口数現状維持とする。
- ・研討・研究会、および講習会参加費は、近年での実績値の高かった年度を手本として、それを上回ることを目標とする。
- ・試験標準品頒布収入は山谷の「谷」水準を見込む。



2017年度予算編成方針(2)

- ・会誌発行費は、60周年記念号発刊による費用増を見込みつつ、工程の見直しによる経費削減を盛り込む。
- ・研討・研究会開催費は、ICJ会場関係費増の計上および、新規催しへ対応した予算とする。
- ・60周年に向けた新規出版予算を計上する。
- ・事務費の漸増傾向を業務委託支出を監視抑制することで削減する。
- ・事務員費は、繁忙期に臨時雇用する体制をとり、固定費を抑制する。
- ・前年度方針に倣い、国際会議準備基金(特定資産)積み立てを計上する(積立額50万円/年)。



収支予算概要

科目	2017年度当初予算	2016年度当初予算	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①正会員会費収入	7,200,000	7,300,000	-100,000
②維持会員会費収入	12,800,000	12,800,000	0
③事業収入	18,110,000	17,920,000	190,000
④受取利息収入	10,000	20,000	-10,000
⑤寄付金収入	2,000,000	0	2,000,000
事業活動収入計	40,120,000	38,040,000	2,080,000
2. 事業活動支出			
①事業費支出	27,750,000	26,810,000	940,000
②管理費支出	11,960,300	12,910,000	-949,700
③法人税等	70,000	150,000	-80,000
事業活動支出計	39,780,300	39,870,000	-89,700
事業活動収支差額	Ⓐ 339,700	-1,830,000	2,169,700
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	Ⓑ 900,000	0	900,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	-560,300	-1,830,000	1,269,700

一般社団法人

Ⓐ事業活動収支は35万円の黒字予算

Ⓑ事務局MFP,プリンター更新

事業収入詳細

科目	2017年度当初予算	2016年度当初予算	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 正会員会費収入	(A) 7,200,000	7,300,000	-100,000
② 維持会員会費収入	12,800,000	12,800,000	0
③ 事業収入	18,110,000	17,920,000	190,000
研討・研究会参加費	(B) 9,200,000	9,550,000	-350,000
講習会参加費	(C) 4,200,000	4,100,000	100,000
試験標準品頒布収入	(D) 2,000,000	2,400,000	-400,000
予稿集・技術資料頒布収入	130,000	200,000	-70,000
出版物頒布収入	70,000	50,000	20,000
会誌購読・BN頒布収入	1,000,000	900,000	100,000
広告収入	1,500,000	700,000	800,000
雑収入	10,000	20,000	-10,000
国際会議関係収入	0	0	0
④ 受取利息収入	10,000	20,000	-10,000
⑤ 寄付金収入	(E) 2,000,000	0	2,000,000
事業活動収入計	40,120,000	38,040,000	2,080,000

- (A) 正会員数漸減→増員基調を目指す。
- (B) 2014年度実績+αの参加者を目指す
- (C) 2015年度実績+αの参加者を目指す
- (D) 試験標準品需要は谷間の想定
- (E) ICJ共催団体からの寄付金収入

事業支出詳細

科目	2017年度当初予算	2016年度当初予算	増減
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	27,750,000	26,810,000	940,000
会誌発行費	① 9,000,000	9,700,000	-700,000
研討・研究会開催費	② 9,500,000	7,510,000	1,990,000
講習会開催費	1,700,000	2,200,000	-500,000
試験標準品作製費	1,000,000	1,200,000	-200,000
出版物作製費	③ 1,000,000	500,000	500,000
デジタル化費	900,000	900,000	0
学会賞費	500,000	500,000	0
諸委員会費	2,150,000	2,100,000	50,000
理事会・評議員会・総会費	1,500,000	1,700,000	-200,000
国際会議準備費	500,000	500,000	0
② 管理費支出	11,960,300	12,910,000	-949,700
通信・運搬費	400,000	400,000	0
事務費	④ 1,700,000	2,200,000	-500,000
事務員費	⑤ 9,000,000	9,550,000	-550,000
事務機械化費	210,000	200,000	10,000
雑費	100,000	100,000	0
租税公課	390,300	300,000	90,300
管理諸費	60,000	60,000	0
退職給付費用	100,000	100,000	0
③ 法人税等	70,000	150,000	-80,000
事業活動支出計	39,780,300	39,870,000	-89,700

投資活動, 財務活動収支

科目	2017年度当初予算	2016年度当初予算	増減
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	900,000	0	900,000
① 器具備品取得支出	900,000	0	900,000
② ソフトウェア取得支出	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0

器具備品取得支出 事務局MFP, プリンター
老朽化により更新(5年で償却)

2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



2017年度 定時総会 進行次第

(2016年6月20日(火) 12:45～13:45)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2017年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2016年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2016年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2017年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

